

Semanario de S. Paulo



聖州歌園

△「冬の日」

ソロカバナ線
セルケイラ奥にて

鳥路賛

△あの白い棉烟中のサベ茸に
筑紫の人の娘はすめり

△棉つみて今日も暮れ行く
冬の日を

△枯木によりてながむ人妻
△棉烟に亦いレンソのホウかぶり
ミネロの山の棉真白なり
チラと見かねりうた聲
やみぬ

△犬も居眠り豚も夢みる午後三時
△セン／＼のない飛びさる
カント中
△パルバチモソニヨ汝も淋しき

△ゴヤンベア

聖市 大根彌彦

ゴヤンベア…………。
前はそうした、平和な
愛の世界に――。
戀を知り、又戀を忘れて
今は母性の愛に活きてゐる。
そうしてお前の忠良な血は、
永久にこの殖民地に
流れ行くのだ。

ゴヤンベア…………。
この植民地にもお前の子孫が、
伸び行くよ――、
移植して來た。
そうしてアダムとイブの
子孫が、殖ぬけて行くのだ。

ゴヤンベア…………。

旅館

歯科醫

中信一

主館 松山三太郎

ノロエステ線リヌス町プラサ前

電話シダーデ七三六三

旅館 上地

聖市、ボニータ街
郵函………一二二五

電話セントラル五七〇一

郵函………

上地彌藏

里野の兄の岩崎俊吉は、郷里の中學を卒つたその翌年單身このラジルへ本田家の一族と俱に渡航したのである。彼の父は俊吉がまだ在學中、商業上の失敗から精神に異状を起して變死を逐げた、地方でも可なりに聞ぬた素封家であつたが、こうした不幸續きのため、家産の殆どは傾盡して仕舞つたのである。けれども、氣丈な彼の母は、女手で二人の兄妹を教育して只管に家名の再興を祈念したのである。日常こうした、母の訓戒に育つた彼は在學中から片時も、家名の再興と云ふことが念頭を去らなかつた。で、彼が愈々ラジル渡航を決心するまでには、幾ら研究したとかまつた何度も熟考したことか……だから彼の渡伯は決して青年者の好奇心に驅られて飛び出した様なそんな浮薄な根底のないものとは違つてゐたのである。

彼が渡伯後の七年間^間。それは決して短かい歳月ではなかつた、彼は最初の三年間を本田のハミリヤとして働いた、それは誰もが経験するやうに、過激な労働に終日汗と土塗れになつて働きかづいたことである。慣れない労働に手甲に一杯肉刺を挿ぬたこともある。また焼け爛れる様な炎天下に監督の厳しいフワゼンダでネグロ相手の激しい労働に眼のくらめくこともあつた。こんな時、フト故郷のことを追憶する、意志の強固な彼にも矢張懐郷のやみはあつた。こうした、永年の苦闘と試練には金錢のように頑丈な骨格に變つたのである。

彼が始めて本田の家から獨立したのは、四年前の彼が二十三の血氣盛りであった。其後の彼は、わづかな資金を以て毛唐カラダを使つて、一生懸命に働いたのであつた、それが今では百アルケルの土地と、五万

業上の失敗から精神に異状を起して變死を逐げた、地方でも可なりに聞ぬた素封家であつたが、こうした不幸續きのため、家産の殆どは傾盡して仕舞つたのである。

けれども、氣丈な彼の母は、女手で二人の兄妹を教育して只管に家名の再興を祈念したのである。

日常こうした、母の訓戒に育つた彼は在學中から片時も、家名の再興と云ふことが念頭を去らなかつた。で、彼が愈々ラジル渡航を決心するまでには、幾ら研究したとかまつた何度も熟考したことか……だから彼の渡伯は決して青年者の好奇心に驅られて飛び出した様なそんな浮薄な根底のないものとは違つてゐたのである。

彼が渡伯後の七年間^間。それは決して短かい歳月ではなかつた、彼は最初の三年間を本田のハミリヤとして働いた、それは誰もが経験するやうに、過激な労働に終日汗と土塗れになつて働きかづいたことである。慣れない労働に手甲に一杯肉刺を挿ぬたこともある。また焼け爛れる様な炎天下に監督の厳しいフワゼンダでネグロ相手の激しい労働に眼のくらめくこともあつた。こんな時、フト故郷のことを追憶する、意志の強固な彼にも矢張懐郷のやみはあつた。

こうした、永年の苦闘と試練には金錢のように頑丈な骨格に變つたのである。

其後の彼は、わづかな資金を以て少しの土地を購つた、そうして毛唐カラダを使つて、一生懸命に働いたのであつた、それが今では百アルケルの土地と、五万

三の可愛い少女であった。俊吉の本の珈琲を自分の所有としてゐる。それに何論、妹の里野などは、里野にからかふのである。

俊吉が國を發つた時、妹はまだ十四歳で、少女であった。俊吉は時々當時のことと思ひ出しては、里野にからかふのである。

「ねい里野」俺が此方へ来る時、何と云つて別れたか、覺えてゐるかい？」

「ねいよく覺えて居ますわ――」

妾し兄さんに、澤山バナヽを乞つといて頂戴つて云ひましたわネ――」

これを聞いたシエン吉は、急に七年前に郷里の○○驛で、母と一緒に見送つて來た、あの無邪氣な里野の姿が目前に浮ぶのである、大きな赤いリボンをつけてた下ばねにした、そうして鈴の様な涼しげな眼をパツチリ開いて……快活であった里野の姿が……。

「成程、食いしばうが云ひるでしよう？」

「うなことだね、ハハヽヽ」

「あら、兄さんは口が悪いのね」

「だけど、妾虚言は云はなかつて」

「まつたくだ、里野さんが約束通り来て呉れたから、俺が助けて譯さ、これだけは大に里野さん」

「まア仰山なこと云つて……」

ホヽヽヽ、兄さんの仕事を妹が助けるのは當然じやなくして、妾し感謝なんか一寸とも要らないわ、

「じや何が要る？」

「妾し、バナヽで澤山！」

「ハハヽヽヽ」

「ホホヽヽヽ」

兄妹の間にこんな他愛のない会話が、よく繰返さるるのである。

▼ 社 告
本紙發送中にて間違ひを生じ、不着した場合は直接本社へ御一報願しくて願ひ申ます。

Marcenari Ja
Macagli

Club Asahi

旭

共同 経営 中川美彌喜
渡邊四郎

聖市、コンヂ、デサルゼダス街、五〇
電話セントラール四五五九

館主 忠中山太郎

北西線リノス

旅館 末廣

町営深切を旨とし
凡て御客様本位に大勉強仕ります

古賀政次

バウル市八月一街
(シネマ眞前)

珈琲向の土地賣出

(一) 総面積 三千五百十三アルケレース
(アセンダ、リオ、フェイオ、ベルテンテス、チビリサ

(二) 位チ ノロエステ線プロミーソン驛より三十五杆、
ベンナボリス驛より二十四基米。

(三) 交通路 ベンナボリス驛より自動車道開設中、向ふ二ヶ

(四) 地價 月間内には山の境迄で開通す。
三百ミル以上、土地の高低の差により一定せざ
初年代金三分の一拂込と同時に登記書類交付す
残額は二ヶ年内に拂込を決済す但し利息年一割

●尚詳細は御照會により
何時でも御報知申上げます

北西線グランタン驛オタル、ビヤジヤンテス

取扱人 國崎重

郵局番

<p>CASA OHARA DE OHARA & IRMÃOS ARAÇATUBA machina de beneficiar ARROZ, ALGODAO E MOINHO DE FUBA'</p>	<p>家 具 商</p> <p>聖市 ルア、バロン デイタベチニンガ二〇番</p> <p>委細は本店宛問合せ下さい</p> <p>ペローバ、セードロ買入度し</p>	<p>か う き よ う</p> <p>精米 精綿 及 雜穀 仲買</p> <p>杉本芳之助</p>	<p>前真驛 バウル</p> <p>日本旅館</p> <p>平心山沖</p>	<p>見テ體裁ヨク 着テ着心持ヨク 御体ニスツキリ 最新型 迅速叮囑ニ 御用命ニ應ジマス 矢部洋服店</p> <p>Alfaiataria Yabe São Paulo</p> <p>聖市コンデ街一九番 電話セントラル三四三四四〇</p>	<p>高岡專太郎 聖市、フワグンデス街八 電話セントラル四一八〇</p> <p>Dr. Taka M dico e pe Rua Fagundes, 8</p>
--	--	--	---	---	--

Club
Asahi
旭

ク ラ ブ
渡 中 川 美 邊
邊 四 郎
郎喜

1886-1887

旅館
未廣

Marcenaria Japoneza M. Sagi - Koga

家 具 製 造
並 に 販 賣

家 具 製 造

道

Dr. Takaoka
M dico e C perador
Av. Facundos 8 - S. Paulo

S. Fagundes, S. Paulo

診察時間
午後三時より六時迄
高岡専太郎
聖市、フワグンデス街八
師醫

●出雲大社からのお遣ひ人
日本國土の植民第一世と呼はる大國主の命と其子の恵比壽様たる事大主・大神とを祭る出雲大社から大補教たる福田周次郎氏が、出雲大社から州に来られ、去る廿七日バウル着當市住留の邦人家族一々ホウ問「ねはらい」をして廻られた、洋服の上に即席の鳥帽子束帶、案内人は靴磨きの小僧であつた。
福田氏はモウ色氣もぬけた山羊の毒老人である。誰れも此野郎危いぞと疑ふものはないが……自分では頗りと「私は決して悪い事をする不徳漢ではありませんか」何分宣しく」と辯解して居られた六十八歳の高齢、ね札の信仰から一万哩を遠しとせずして来る、その意氣愛すべしだ。

十九時間と五拾分れどり通したそ
うである。歐州の檜舞台に出かけてレ
コードを争ふであらふ。

以上先通分
二十七日 棉一アローバ賣 六、〇〇〇
月
二十八日 棉一アローバ賣 五三、五〇〇
火
二十九日 棉一アローバ賣 一六、〇〇〇
水
三十日 棉一アローバ賣 五三、〇〇〇
全
四月、〇〇〇
此迄聖市運行かねばバウル市ではX光線の治療も病症實證も出来なかつたが、去る廿六日よりバウル市在住のトットル、ジョアンフエラズ氏が醫治療其他病症實證には充分のX光線機を据ひ申けたので、一般患者に對し治療申込を受旨本社迄通知に接した、X光線ドットル、フェラズ氏と相談して見たらよかるべ。

● 宜しくない

○ 彎X光線が据つた
● バウル醫界にも

歸國者
先達ハワイ丸で歸國した、ソロバナ線アベ駅の村中泉なる男はアバレ居住中バクチや其他の相場でシコタマ負債を擔いで居た男であつたが、思惑買の棉の値は下りてアバレ市の人知人等には彼の妻貢債の或るものは、同地邦人の棉化仲買人大安某に背負はせ、外人とその借財關係は大部分ホツタラかまつするや否や、ハワイ丸に乘込んだ。
日本日伯新聞に歸國廣告を出し世間態を誤魔化し、男の材中和を氣とつて居るけれど、その實右の始末金が三十コン特斯以上もあらんと云ふ噂である。醫術にかけた大安某も是れには盛葉に一寸困つて居るとか。

● 送金相場 (七月廿一日)
横濱正金銀行リオ支店
昇相場邦貨一圓に付き伯貨三ミル
五百五十レイイス也

		PHOTOGRAPHIA	
肖像繪及寫眞師	名 越 寫 眞 館	御求めに應じます	アバレー市
北西線グランタン驛直ぐ前	名越政夫	オル	びあじやんてす
私儀今般國崎重次氏の經營せる當驛オテルドスピアジヤン テスを讓受候て營業仕る事と相成り申候間何卒御愛顧御投宿の 程幾重にも希上度茲に御披露申上招候	吉永宗義 敬具	△△馬車賣物一台	△△馬車賣物一台
リース駢	佐正照	八頭及附屬品全部	大福旅館内
リース駢	佐光正照	測量、設計、 其他電氣工事に 一切のれ求めに叶ひます	佐正照
リース駢	小林弘一郎	公認電工技師	郵函百二十六番
リース駢	横山初太郎	ノロエヌテ線	午後二時 日曜學校
リース駢	伊藤八十二	ノロエヌテ線	午後九時半禮拜説教
リース駢	本人基督教會	牧師	曜日

